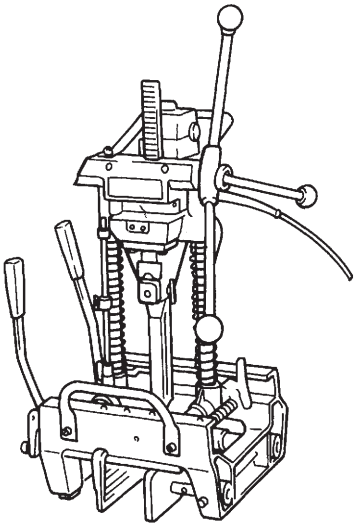
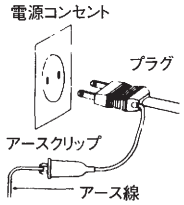
手動カクノミ
モデル 7304
5寸カクノミ
モデル 7305
モデル 7305H
モデル 7305L

取扱説明書

（イラストはモデル7304です）





本機はシングル絶縁構造ですので必ず接地（アース）してください。

このたびは **マキタカクノミ**を お買い上げ賜り厚くお礼申し上げます。

ご使用に先だち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

主要機能

	7304	7305	7305H	7305L
電動機	直巻整流子電動機			
電圧	単相100ボルト			
電流	12アンペア			
周波数	50—60ヘルツ			
消費電力	1,150ワット			
回転数	毎分1,400回転			
穴あけ能力	最大角穴……30mm　最小角穴…… 6 mm			
	最大切込深さ…125mm（ノミ先端）	最大切込深さ（ノミ先端）……161mm		
加工材料幅	183mm		105～305mm	363mm
角ノミ移動量	長手方向……120mm 横手方向……120mm		長手方向……150mm 横手方向……165mm	長手方向……150mm 横手方向……210mm
重量	21kg	21.5kg	26.5kg	26kg

• 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の ⚠ 警 告 ⚠ 注 意 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠ 警 告 と ⚠ 注 意 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠ 警 告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注 意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、⚠ 注 意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注：製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

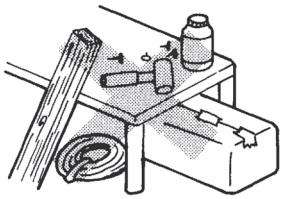
安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

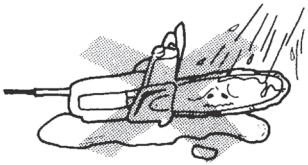
⚠ 警　告

1．ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

2．作業場は、いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



3．作業場の周囲状況も考慮してください。
- 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

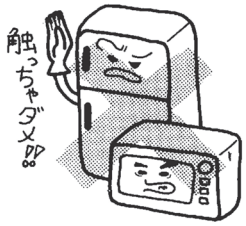


4．十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
- 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。



5．アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
- アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

6．感電に注意してください。
- 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。
  （例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）



⚠ 警　告

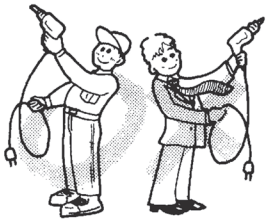
7．子供を近づけないでください。
- 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

8．使用しない場合は、きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。

9．無理して使用しないでください。
- 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

10．作業に合った電動工具を使用してください。
- 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

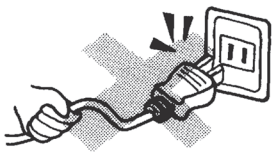
11．きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。



12．保護めがねを使用してください。
- 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

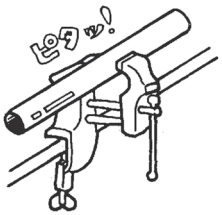


13．コードを乱暴に扱わないでください。
- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。



⚠ 警　告

14. 加工する物をしっかりと固定してください。



- 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

15. 無理な姿勢で作業をしないでください。

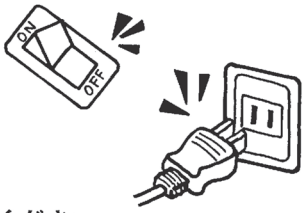
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。



16. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

17. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。



- 使用しない、または、修理する場合。
- 刃物、といし、ビット等の付属品を交換する場合。
- その他危険が予想される場合。

18. 調節キーやレンチ等は、必ず取り外してください。

- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取り外してあることを確認してください。

19. 不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

20. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⚠ 警　告

21. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

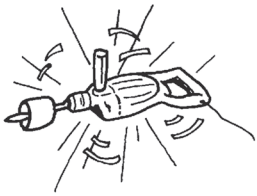


- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れている場合は、使用しないでください。

22. 損傷した部品がないか点検してください。



- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。



- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所で修理を行なってください。
- スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

23. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- 本取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

24. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

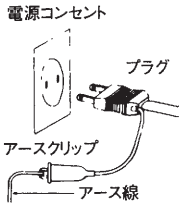
- 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店または弊社営業所にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。
- アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した電動工具の保守・点検・修理は受付できません。

カクノミ安全上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、カクノミとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警　告

1．必ず接地（アース）してください。



- 故障や漏電のときに感電する原因になります。
- 接地は、プラグの横からでているアースクリップをアース線に接続してください。
- アースクリップやアース線に異常がないか確認してください。
  テスターや絶縁抵抗計をお持ちでしたらアースクリップと機械本体の金属部（外部）間の導通を確認してください。
- アース棒やアース板を地中に埋め込み、アース線を接続するような電気工事は電気工事士の資格が必要ですので最寄りの電気工事店に相談してください。
- 接地と共に感電防止用漏電しゃ断器の設置された電源に接続されますことをおすすめします。
- 漏電しゃ断器や接地については、次の法規がありますので、ご参照ください。

  労働安全衛生規則　　第333条・第334条
  電気設備の技術規準　　第18条・第28条・第41条

2．アース線をガス管に接続しないでください。
- 爆発の恐れがあります。

3．つなぎコードを使用するときは、アース線を備えた3芯コードを使用してください。
- アース線のない2芯コードですと、感電の原因になります。

4．使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
- 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となりけがの原因になります。

5．使用中は、機体を確実に保持してください。
- 確実に保持していないと、けがの原因になります。

6．切削する材料は、安定性のよい台に置いて作業してください。
- 台が不安定ですと、けがの原因になります。

7．使用中は、切粉排出口に指などを入れないでください。
- 回転しているキリに触れ、けがの原因になります。

8．使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または弊社営業所に点検、修理を依頼してください。
- そのまま使用していると、けがの原因になります。

⚠ 警　告

9．誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
- 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

10．使用中は、軍手など手袋を着用して使用しないでください。
- キリに巻き込まれ、けがの原因になります。

11．木材に、釘や砂などの異物がないことを作業前に十分確かめてください。
- 刃物を破損させ、事故の原因になります。

⚠ 注　意

1．角ノミや付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
- 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。

2．回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
- けがの原因になります。

3．角ノミの取扱いには、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。
- 不用意に扱うと、切り傷の原因になります。

4．使用直後の刃物は高温になっていますので、触れないでください。
- やけどの原因になります。

5．角ノミの交換は、角ノミ取付ボルトを十分に締め付けてください。
- ボルトがゆるむと、思わぬけがの原因になります。

6．スイッチを切った後も、惰性で回転している角ノミに注意してください。
- 手などが触れると、けがの原因になります。

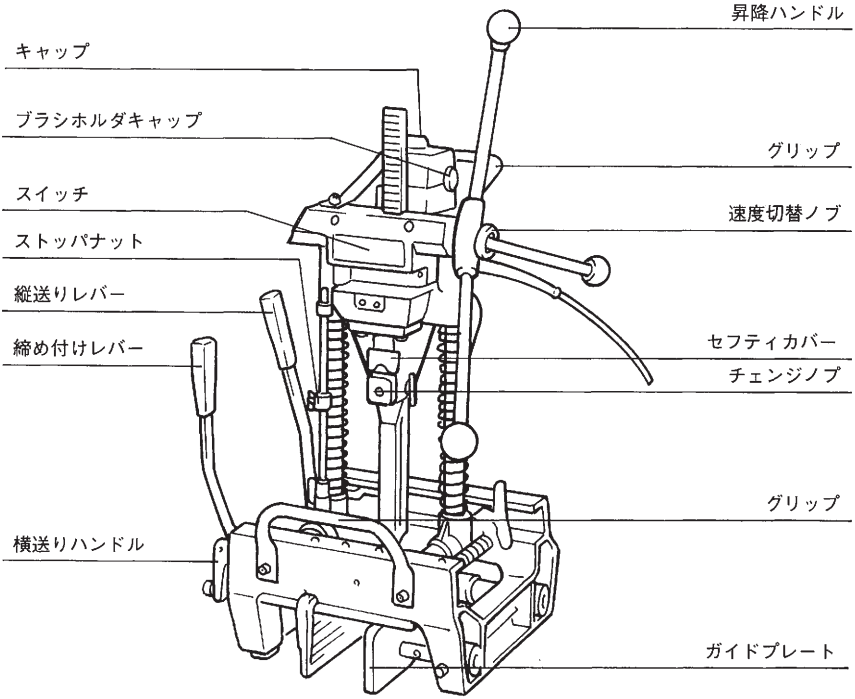
注

電源が離れていてつなぎコードが必要なときは、機械を最高の能率で故障なくご使用いただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

コードの太さ（導体公称断面積）	コードの最大長さ
1.25mm²	10m
2.00mm²	20m

各部の名称および通常付属品



通常付属品

- ボックスレンチ
- フラットワッシャ（角ノミ調整用）
- 角ノミ取り付け定規
- 30㎜角ノミ（本機取り付け）

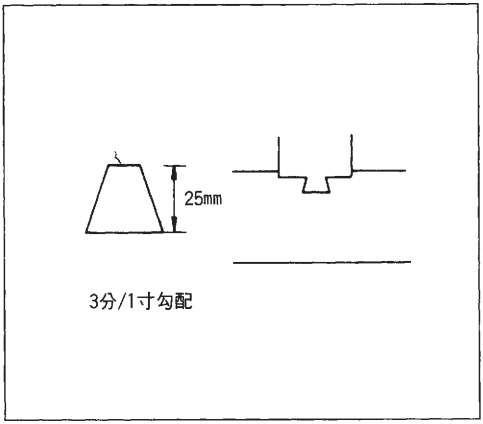
特別付属品(別販売)のご紹介

• 研磨砥石

角ノミ

• 角ノミは 6 mm、9 mm、12.7mm(このサイズには角ノミ取り付け具が必要です。)15mm、16.5mm、18mm、21mm、24mm、27mm (最大切り込み深さ《ノミ先端》125mm)30mm (最大切り込み深さ《ノミ先端》125mm・161mm) の各種を取りそろえております。

アリノミ



アリ溝加工に上記寸法のものを用意しております。

• 角ノミ取り付け具
(12.7mm以下の角ノミに使用します。)

昇降ハンドル・角ノミの取り付け、取りはずし方

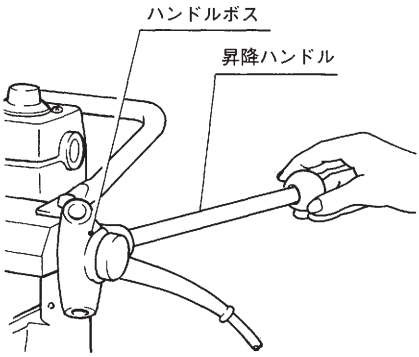
⚠ 警 告

昇降ハンドル・角ノミの取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。

- プラグを電源につないだまま行うと、事故の原因になります。

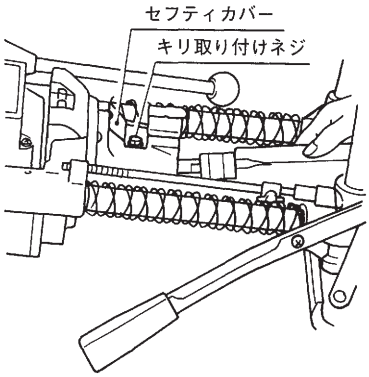
昇降ハンドルの取り付け方

- 3本の昇降ハンドル棒をハンドルボスにねじ込んでください。

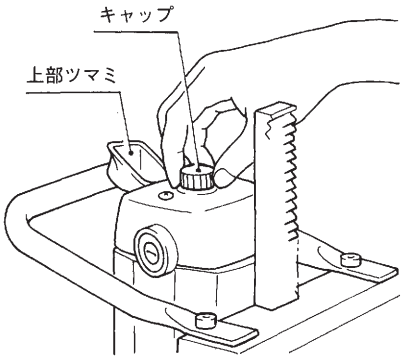


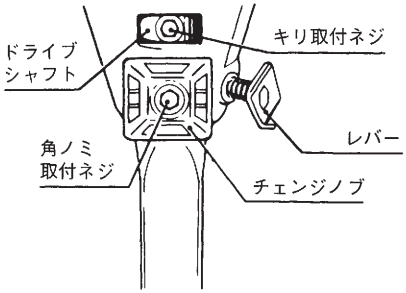
角ノミの取り付け方

- 本機を後方へ静かに倒し、セフティカバーを上側へ開いてください。

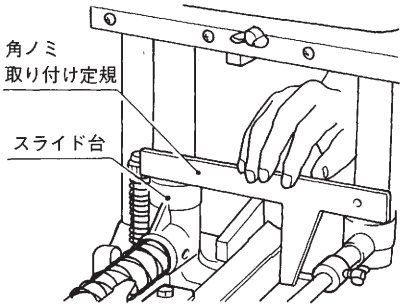


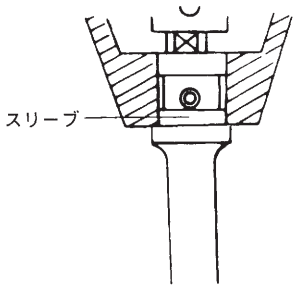
- キャップを取りはずし上部ツマミを回してキリ取り付けネジを正面に向けてください。
- 角ノミの切屑排出窓を正面にして、キリ軸の面取り部をキリ取り付けネジの位置に合わせて、ドライブシャフトへキリを挿入し、ボックスレンチでキリ取り付けネジを締め付けてください。





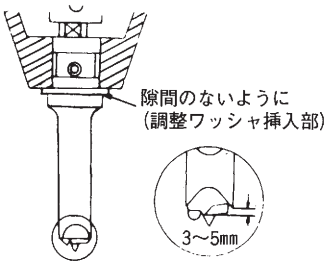
- 角ノミを切屑排出窓が正面より見て右横になるように回してください。
- 角ノミ取り付け定規をスライド台に当て、角ノミの側面を定規にぴったり合わせた状態で角ノミをスリーブに当たるまで挿入し、角ノミ取り付けネジをボックスレンチで締め付けてください。
  なお、このときチェンジノブは「ホゾ」を上側にしてください。
- レバーを締め付け、セフティカバーを閉じてください。





角ノミとキリとの寸法調整

- キリが角ノミより３～５㎜出ている状態が最適です。
  角ノミを研磨して短かくなった場合は調整用ワッシャを角ノミに差し込んで使用してください。

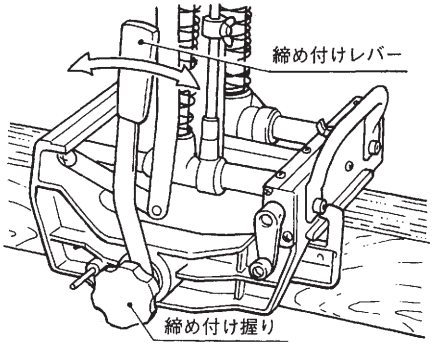


角ノミの取りはずし方

- 本機を後方へ静かに倒し、レバー・角ノミ取り付けネジ・キリ取り付けネジをゆるめ、角ノミを取りはずしてください。

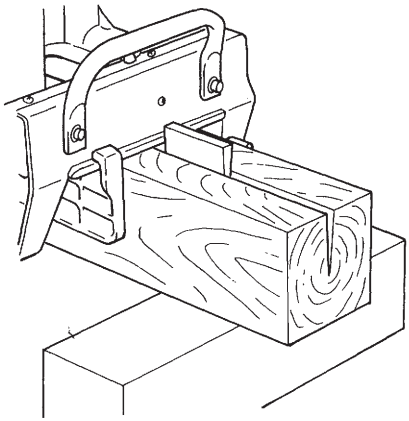
材料に固定

- ガイドプレートに材料が当たるまで本体を動かしてください。
  締め付けレバーを前方に倒し、締め付け握りで木材を仮り締めしたのち、締め付けレバーを手前に引いて材料に固定してください。



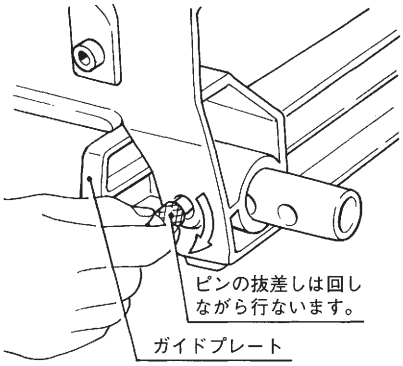
注

- **背割材などを加工する場合、木材がそれ以上割れないよう割れた部分に木材などを入れてから機械を取り付けてください。**



ガイドプレートの位置調整

- ガイドプレートはピンを差し込む穴の位置により、３段階に調整できます。材料の幅に応じて調整してください。

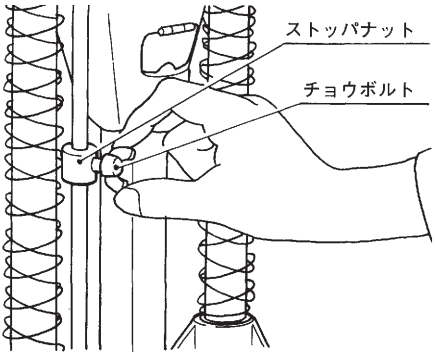


7305Lのみ

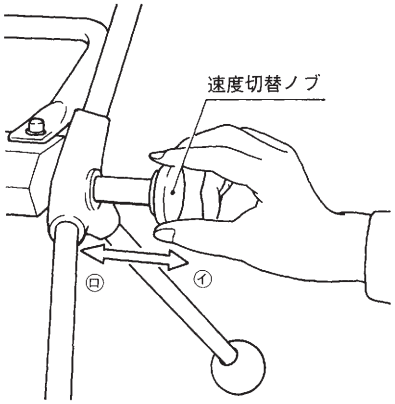
- ガイドプレートを取りはずせば最大幅363㎜(１尺２寸)までの材料に固定することができます。

穴あけ深さの調整

- ストッパナットのチョウボルトをゆるめ、希望の位置にストッパナットを動かし、チョウボルトを締めて固定してください。
  この場合ストッパポールの平面部にチョウボルトが当るようにし、チョウボルトを締めます。

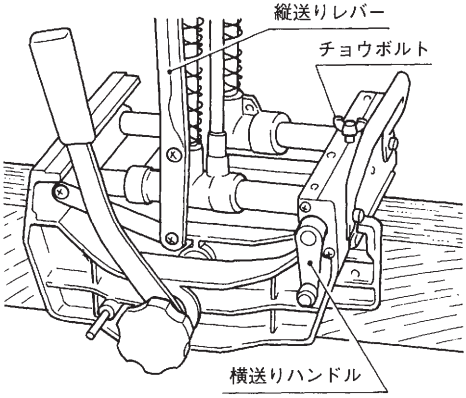


昇降速度の切り替え



• 速度切替ノブを動かして行ないます。
遅送りは速度切替ノブを㊐方向に、**速送り**は㋑方向に移動させてください。
21㎜以上の角ノミを使用する場合は遅送り、18㎜以下の角ノミを使用する場合は速送りが適切です。

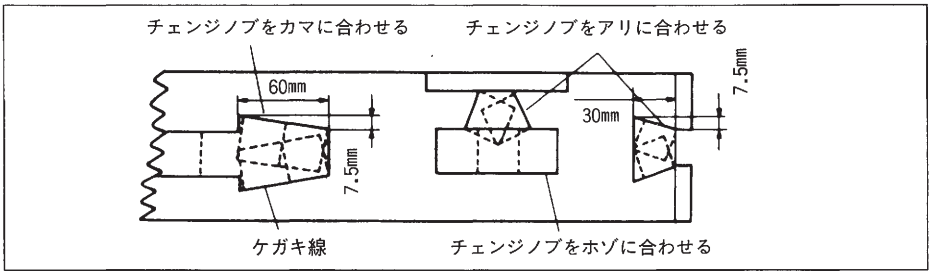
角ノミの移動



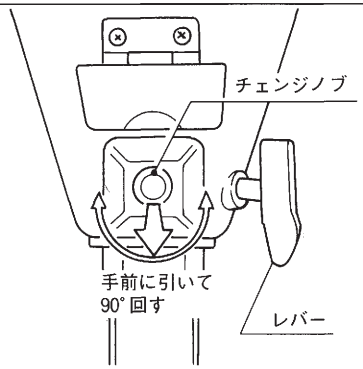
• 木材の長手方向（前後方向）は縦送りレバーで、横手方向（左右方向）は横送りハンドルで操作します。
横手方向の動きを固定する場合は、チョウボルトを締め付けてください。

チェンジノブ(角ノミ取り付け角度切り替え装置)の使い方

(アリ穴、カマ穴など継手穴の荒ホゾ加工ができます。)

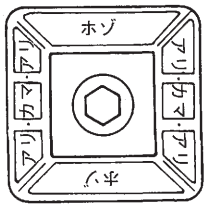


- レバーをゆるめ、チェンジノブを手前に引いて回し、希望する加工表示を上側にしてください。



- カマ加工はチェンジノブを左右に動かし、アリ加工はチェンジノブを手前に引いて左右に動かし、角ノミ取り付け角度を調整してください。

(このときチェンジノブが傾いていますと正確な取り付け角度が得られません。)



チェンジノブの表示

- レバーを十分に締め付けてください。
- 縦送りレバーおよび横送りハンドルを操作して角ノミをケガキ線に合わせた後、穴あけ加工を行ないます。

注

- **チェンジノブを左右に動かし難いときは一度スイッチを入れて角ノミに詰った切屑を吐き出させるか、ボックスレンチを角ノミ取り付けボルトに押しつけて動かしてください。**

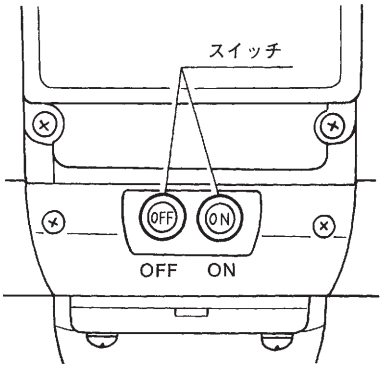
スイッチの操作

⚠ 警　告

電源にプラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- スイッチを入れたままプラグを差し込むと急に動き出し事故の原因になります。

- スイッチは「ON」のボタンを押すと入り、「OFF」のボタンを押すと切れます。

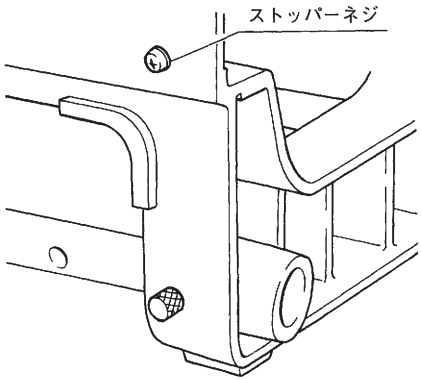


穴あけ加工

- 穴あけの始めはゆっくりと角ノミを切り込みます。また、穴あけ加工は切屑がつまらない速度でご使用ください。
- 堅木や節のあるところは無理な力をかけないようにしてください。無理をしますと穴が曲がったり角ノミの破損をまねくことがあります。
- 欠き込み加工時には角ノミがガイドプレートに当らないように注意して穴あけを行なってください。

  またガイドプレートを逆に取り付けると、当らない範囲を広くとることができます。

- モデル7305Hはスタンド正面右側のストッパーネジをゆるめれば、305㎜までの欠き込み作業が可能です。



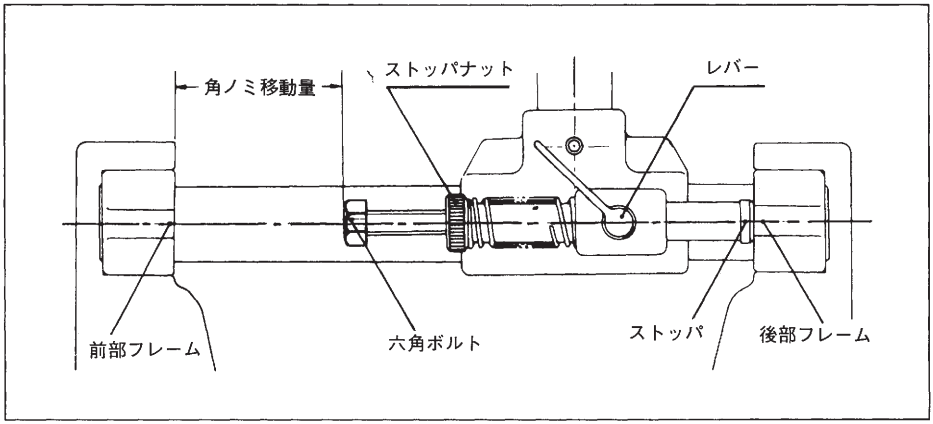
穴あけ定寸装置の使い方

①ストッパーを後部フレームに接した状態に保ち六角ボルトを調整し、角ノミ移動量（希望加工穴寸法からノミ寸法を減じたもの；30㎜ノミで90㎜の長穴をあける場合は90－30＝60㎜）を設定してください。
調整後ストッパナットは完全に締め付けてください。

②レバーをゆるめた状態にし、角ノミを手前のケガキ線に合わせてください。
（このとき、六角ボルトが前部フレームに接しているようにしてください。）

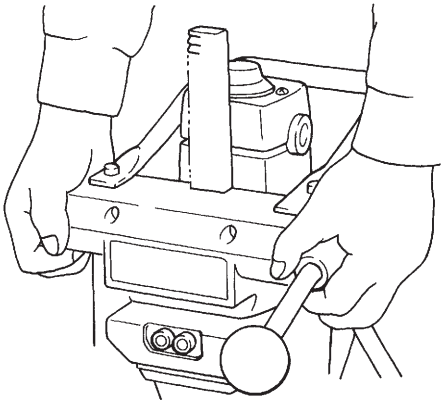
③レバーを後方へ倒して定寸装置を固定させ、そのままの位置で穴あけをします。次いで順に後方へストッパが後部フレームに当たる（縦送りレバーが動かなくなる）まで穴あけしてください。

④穴あけが完了しましたら、次の穴あけ位置にしてください。
以後は②～④を繰り返すのみで同寸法の穴あけができます。

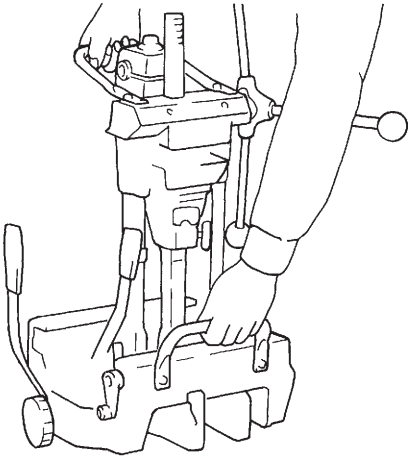


運搬

- 作業現場での本機の移動は上部取手と速度切替ノブを用いて行ないます。



- 本機の運搬は上下のグリップを用いると便利です。
  運搬するときは、縦送りレバーでモータ部をいちばん手前の位置にしてください。



特別付属品(別販売)の使い方

研磨砥石の使い方

⚠ 警　告

といしにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。

・異常があると、といしが破壊し、けがの原因になります。

誤って落としたり、ぶつけたときは、といしや機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

研削粉は火花となって飛散するので、引火しやすいもの、傷付きやすいものは安全な場所に遠ざけてください。また、研削火花を直接手足などに当てないようにしてください。

・火災ややけどの原因になります。

⚠ 注　意

工具類(といしなど)や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。

・確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。

新しいといしを取り付け、はじめてスイッチを入れるときは、といしの露出部から一時身体を避けてください。

・といしが破壊したとき、けがの原因になります。

試運転を励行してください。

試運転時間は
- **といし交換のとき……３分間以上**
- **その日の作業始めのとき…１分間以上**

です。

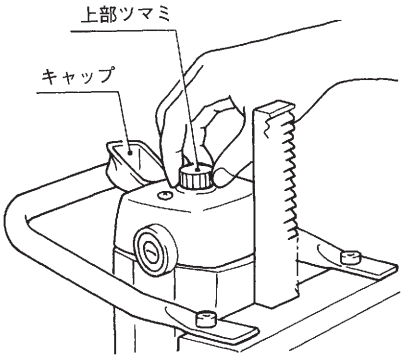
・試運転せずに作業を開始すると、思わぬけがの原因になります。

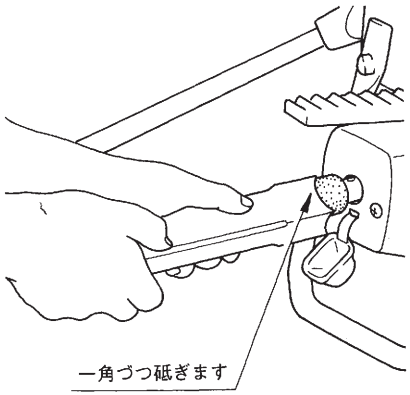
- キャップをはずしボックスレンチをキリ取り付けネジに差し込み、軸が回らないように固定し、上部ツマミを右へ回してはずしてください。

- ネジ回しなどを利用して研磨砥石の穴に差し込み、左へ回して研磨砥石を取り付けてください。

- 本機を静かに倒し、３分以上無負荷運転し異常のないことを確認してください。

- 角ノミを研磨する場合は一角づつ研ぎ、一度に４つの角を研がないようにしてください。刃先の研磨角度や研磨仕上程度によって切れ味が大きく変化しますので、初期の刃先形状を保つように注意してください。





注

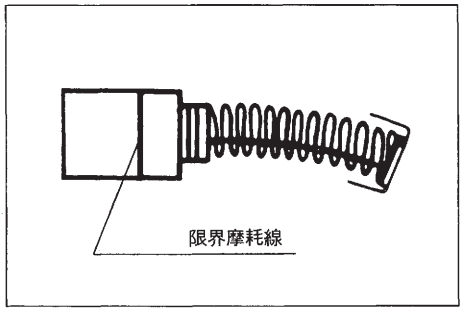
- **刃先が焼けてナマル恐れのある場合には、時々、角ノミを水で冷やしてください。**

保守・点検について

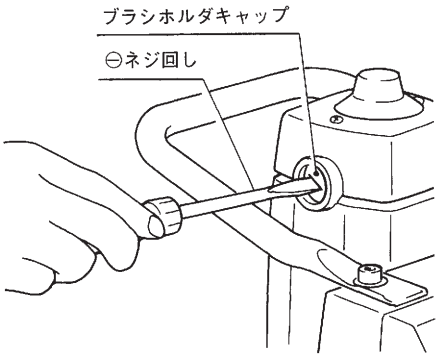
⚠ 警　告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
- プラグを電源につないだまま行うと、感電や事故の原因になります。

カーボンブラシの交換



- カーボンブラシは時々、取りはずして点検してください。
  カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。
  このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。
  新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。
- ⊖ネジ回しでブラシホルダキャップを取りはずします。
- 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。
  カーボンブラシは２コで１組になっております。取り替える場合は、必ず同時に行なってください。



摺動面の清浄

- 上下および前後の摺動部はグリス充てん方式をとっておりますので、注油の必要はありません。ただし長期間ご使用になられ、摺動が悪くなったときはパイプに付着したゴミを拭き取り、油を塗布してください。

ご修理の際は

- 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

881377M0
IWT

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）